



三鷹だより

.....
2月の生活目標
友達のよいところを見つけよう
.....



自己効力感 一歩踏み出す勇氣

副校長 田中 新一

先日は、学校公開・書写展に御参加いただき、ありがとうございました。セーフティ教室も開催され講師を迎え、学ぶことができました。土曜日の書写展は、親子鑑賞日ということで保護者ボランティアの方々にお力添えをいただき、開催することができました。皆様、本当にありがとうございました。

以前読んだ本に、このような一節がありました。

『最近、「相談者の自信度をたちまち見通す」という謎の占い師が評判になっていました。そこでさっそく行ってみると、魔法使いのような頭巾をかぶった老婆が座っており、小さなランプに照らされた狭いテーブルに空のグラスと水の入った水差しが置かれていました。老婆は、にやりと笑いながらこう言います。

「どれ、お若い方。あなたは、このグラスにどれだけ水を注ぐかね？」さて、あなたならどれだけ水を注ぐでしょうか？

あなたは、どのくらい水を入れましたか？グラスに入れた水の量は、あなたの自信度を表すと言われています。では、質問です。いつになったら、あなたのグラスはいっぱいになるのでしょうか…。(参考文献『答えはいつも、自分の枠の外にある！』川村 透著／ダイヤモンド社より一部引用抜粋)

まもなく新学期を迎える中、「自分はここまでやってきた。次の学年もきっと大丈夫。」と「自信」をもって進むか、「〇年生はあまりよくできなかった。新しい学年も心配…」と「不安」を胸に、4月を迎えるか…。心が揺れることがあると思います。

では、そんな時どのように過ごせばいいのか。自信はなくても「やってみよう」と思える気持ち、「自己効力感」といいます。「やれるかどうかはわからないけど、とりあえずやってみよう」と思える気持ちに導いてあげることだと言われています。

この「自己効力感」は、「やればそのうちできるようになるよ」「すべてはできないかもしれないけど、挑戦してみようよ」とチャレンジしてみることで、育まれていきます。

(参考文献『子どもの自己効力感を育む本』松村 亜里著／WAVE 出版より一部引用抜粋)

今思えば私は、水泳が苦手だった私に泳ぎを教えてくれた3年生の時の担任の先生、教員採用試験になかなか合格できず苦しい日々を送っていた時の仲間から、上記のような言葉をかけられていました。採用試験の結果が出ず、「こんなに苦労しているのだから誰かが助けてくれるだろう」という他者依存の思考からどっぷりとつかっていた私を救ってくれたのは、苦楽を共にした仲間の言葉だったと思います。

もうすぐ春がやってきます。新しいスタートが待っています。とにかく「やってみよう」という一歩踏み出す勇氣、挑戦してみようとする気持ちを心から応援しています。

情報教育について

ICT推進担当 多屋 文路

タブレット端末は授業で活用する場面が多く、調べ学習や話し合い内容の共有・整理、考えのまとめや発表などに効果的な ICT 学習ツールです。子供たちの学びを広げ、情報活用能力の育成にもつながっています。

一方で、タブレット端末の使用にあたっては、「適切なアプリの使用」「利用する時間や姿勢」「撮影の仕方」など、ルールやマナーを守るだけでなく、情報モラルや健康面への配慮も必要です。三鷹市や本校のルールをもとに、ICT を安全かつ効果的に活用する力を育んでいきます。

学校保健委員会

保健主任 廣澤 日南子

昨年の11月27日(木)に今年度の学校保健委員会を開催しました。養護教諭より今年度の定期健康診断結果・保健室来室統計について、体育主任より体力テストの結果や体育的取り組みについて報告を行いました。また、ご出席いただいた学校医の先生方から健康課題についてコメントをいただきました。今後も三小の子供たちが健康に学校生活を送れるよう、学校医の先生方と連携しながら支援してまいります。

毎号、三鷹中央学園各校の様子が分かる HP の QR コードを掲載します。
ぜひ、各校の取り組みをご覧ください。

学園各校の様子「三小」



学園各校の様子「七小」



学園各校の様子「四中」

